

昨今の急速な AI（人工知能）の発達は、現代社会に様々な影響を及ぼす可能性を持つ。特に生成 AI は、責任を持って利用すれば、研究や学習と創造性の強力なツールとなることが期待される一方で、潜在的なリスクを認識することが重要である。

そこで本学における生成 AI の利用は、一般的なルールとして以下の点に留意する必要がある。

- ・著作権法に違反しないこと。
- ・生成 AI は学術的な目的にのみ使用すること。
- ・作成したコンテンツは、自らのオリジナル性を証明できるようにすること。
- ・有害または攻撃的なコンテンツを作成しないこと。

具体的な留意点を以下に記す。なお、社会情勢に応じて適宜変更することがある。

1. プライバシーや著作権に対する留意

- ・個人情報保護法に準拠して個人情報を取り扱うこと。
- ・著作権で保護されたコンテンツを作成・使用する場合は著作権法に準拠すること。
- ・セキュリティ対策を講じ、脆弱性や攻撃から保護すること。

2. 信頼性についての留意

生成 AI はテキスト、コード、画像、音声など様々なコンテンツを生成できるが、

- ・生成 AI で作成したコンテンツを使用する前に自己確認を行うこと。
- ・学術的な目的で使用する場合は、オリジナル性を証明できるようにすること。
- ・有害または攻撃的なコンテンツは使用しないこと。

3. 技術の進展の理解

生成 AI は常に発展する技術であるため、最新情報を把握し、新機能を使用する前に理解することが重要である。

- ・創造的なプロセスを支援するが、自らの考えとアイデアを活用すること。
- ・使用するハードウェアとソフトウェアの要件を理解・確認すること。

4. 利益相反に留意し、透明性と説明責任を保つことについての留意

- ・大学の倫理委員会や専門家の助言を受けることが望ましい。

これらの留意事項は、生成 AI の利用にあたっては一人一人が責任を持ち、潜在的なリスクに対処するための重要なポイントである。本学の学生および教職員は、上記のルールや国などのガイドラインに従いながら、生成 AI を利活用することが望ましい。